

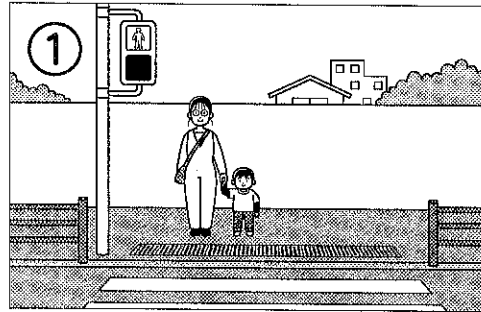


5月になりました。子どもたちも新生活に慣れてきたことでしょう。気候も暖かくなり、外出の機会が増えてくることと思います。前月号で取り上げた「道を歩く時の基本」に続き、今月号では「横断歩道を青信号で渡る」ときのルールを身につけ、安全な生活を送りましょう。

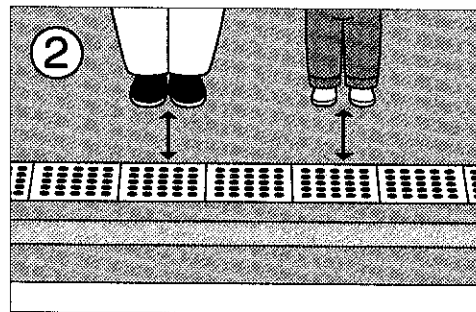


# 道路を安全に横断するためのルールを身につけさせましょう

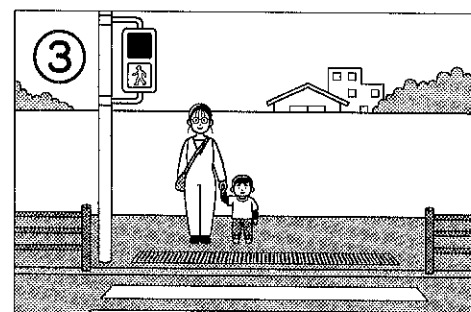
## みちを わたる ときは おうだんぼどうを あおしんごうで わたろうね



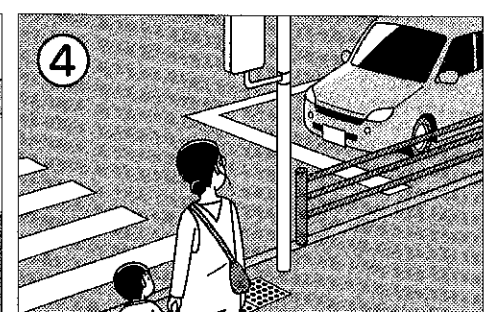
① しんごうが あかの ときには ぜったいに わたらない。



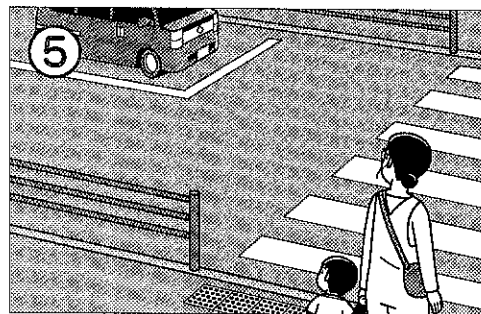
② あおしんごうを まつ ときは いっぽ さがって たつ。



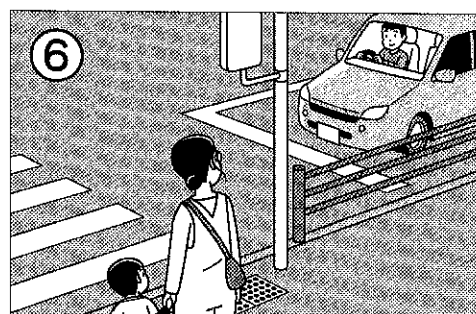
③ しんごうが あおに かわっても すぐには わたり はじめない。



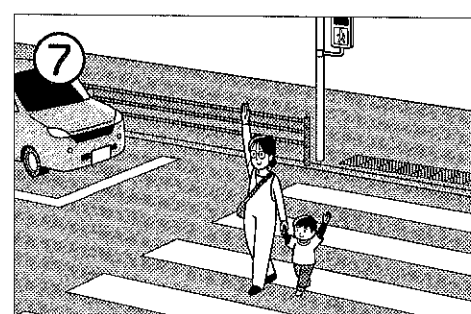
④ みぎの ほうを みて くるまが とまった ことを たしかめる。



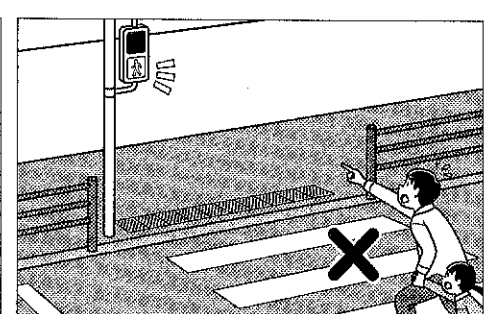
⑤ つぎに ひだりを みて くるまが とまった ことを たしかめる。



⑥ さいごに もういちど みぎを みて あんぜんを たしかめる。



⑦ くるまから よく みえるように たかく てを あげて わたる。



⑧ しんごうが ちかちかと したら あかにかわるから わたらない。

**保護者の方へ** 安全に道路を渡るために大切なのは、必ず横断歩道のあるところで渡るということです。歩行者用信号のある横断歩道では、必ず青信号で、右→左→右と見渡し、車両が確実に停止していることを確かめてから、自分の存在を運転手に知らせるために、高く手を挙げて渡りましょう。信号のない横断歩道でも、同様に左右の安全を確かめてから渡ります。急いでいるからといっても、信号が点滅を始めた時は無理に渡らず、次の青信号を待つようにするなど、気持ちと時間に余裕を持って行動するようにしましょう。

6月号では「傘の安全な扱い方」について取り上げます。